

【概要】

1. 新規採用薬 : ダラキューロ配合皮下注 / ベリキューボ錠 / 木防已湯 / ボルテゾミブ注射用
2. 供給状況 : オロパタジン / セルトラリン / リュープリン SR 注射用
3. 採用変更 : バリキサ錠 / ファロム錠 / テリボン皮下注 / トフィンソパム錠 / エイベリス点眼液
サムスカ顆粒 / ナルラピド錠 / ベリチーム配合錠
4. 添付資料

1. 新規採用

ヒト型抗 CD38 モノクローナル抗体/ヒアルロン酸分解酵素配合剤

ダラツムマブ(遺伝子組換え)・ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)製剤

新規採用薬品

ダラキューロ配合皮下注	434,209 円/1 瓶	ヤンセンファーマ
-------------	---------------	----------

【診療科名】 血液内科

【申請医師名】 河村千春

【申請理由】

ダラザレックスという点滴薬があるが投与時間が長く、また点滴負荷で心疾患のある患者には使用しにくい。
本薬剤は皮下注製剤であるため、5分の投与で済み補液負荷がなく患者さんにも化学療法室にもメリットがあり、採用をお願いします。

【組成】 ダラツムマブ(遺伝子組換え)

【警告】

緊急時に十分対応できる医療施設において、造血器悪性腫瘍又は全身性 AL アミロイドーシスの治療に対して十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例のみに行うこと。

【効能効果】

- ①多発性骨髄腫
- ②全身性 AL アミロイドーシス

【用法用量】

●多発性骨髄腫

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には本剤 1 回 15mL(ダラツムマブ(遺伝子組換え)として 1,800mg 及びボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)として 30,000 単位(2,000 単位/mL))を、併用する抗悪性腫瘍剤の投与サイクルを考慮して、以下の A 法又は B 法の投与間隔で皮下投与する。

A 法 1 週間間隔、2 週間間隔及び 4 週間間隔の順で投与する。

B 法 1 週間間隔、3 週間間隔及び 4 週間間隔の順で投与する。

●全身性 AL アミロイドーシス

他の薬剤との併用において、通常、成人には本剤 1 回 15mL(ダラツムマブ(遺伝子組換え)として 1,800mg 及びボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)として 30,000 単位(2,000 単位/mL))を皮下投与する。投与間隔は、1 週間間隔、2 週間間隔及び 4 週間間隔の順で投与とする。

慢性心不全治療剤 可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC)刺激剤

新規採用薬品

ベリキューボ錠 2.5mg /	131.50 円	バイエル薬品
ベリキューボ錠 5 mg /	230.40 円	

【診療科名】 循環器内科

【申請医師名】 伊藤博之

【申請理由】

EF22%と高度心機能低下を認め、心不全増悪を繰り返している。慢性心不全に対する標準的治療は既に行っているが、心不全コントロールに難渋するためベリキューボの開始が必要と考える。

【組成】 ベルイシグアト

【禁忌】 可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC)刺激薬(リオシグアト)を投与中の患者

【効能効果】 慢性心不全

注意:左室駆出率の保たれた慢性心不全における本剤の有効性及び安全性は確立していないため、左室駆出率の低下した慢性心不全患者に投与すること

【用法用量】

1 回 2.5mg を 1 日 1 回食後経口投与から開始し、2 週間間隔で 1 回投与量を 5mg 及び 10mg に段階的に増量

する。なお、血圧等患者の状態に応じて適宜減量する。

注意:定期的に血圧測定を行い、臨床試験で用いられた基準(添付文書参照)を参考に本剤の用量を調節すること

【外来限定】 漢方製剤

新規採用薬品

ツムラ木防已湯エキス顆粒 2.5g	13.40 円/g	ツムラ
-------------------	-----------	-----

【診療科名】 循環器内科

【申請医師名】 伊藤智志

【申請理由】 冠攣縮性狭心症の診断。血管拡張薬の使用で群発頭痛の悪化が見られるため。

【組成】

日局セッコウ 10.0g 日局ボウイ 4.0g

日局ケイヒ 3.0g 日局ニンジン 3.0g

【効能効果】

顔色がさえず、咳をともなう呼吸困難があり、心臓下部に緊張圧重感があるものの心臓、あるいは、腎臓にもとづく疾患、浮腫、心臓性喘息

【用法用量】

1 日 7.5g を 2~3 回に分割し、食前又は食間に経口投与

抗悪性腫瘍剤(プロテアソーム阻害剤)

新規採用薬品

ボルテゾミブ注射用 3mg「DSEP」	46,350 円/ 3mg1 瓶	第一三共エスファ
---------------------	------------------	----------

【申請者】薬剤部 DI 担当

【申請理由】

ベルケイドの AG。多発性骨髄腫患者に対して、こちらの薬剤使用がグループ内で推奨された。尚、全身性 AL アミロイドーシスに対しての適応が通っていないため、先発のベルケイドを使用。

【先発品】 ベルケイド

【組成】 ボルテゾミブ

【禁忌】 ボルテゾミブ、マンニトール又はホウ素に対して過敏症の既往歴のある患者

【効能効果】

①多発性骨髄腫

②原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫

【用法用量】

①多発性骨髄腫

通常、成人に 1 日 1 回、ボルテゾミブとして 1.3mg/m²(体表面積)を A 法又は B 法で静脈内投与又は皮下投与する。本剤は最低 72 時間空けて投与すること。

②原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫

通常、成人に 1 日 1 回、ボルテゾミブとして 1.3mg/m²(体表面積)を 1、4、8、11 日目に静脈内投与又は皮下投与した後、10 日間休薬(12~21 日目)する。この 3 週間を 1 サイクルとし、投与を繰り返す。本剤は最低 72 時間空けて投与すること。

2. 供給

1) 出荷調整

- ・オロパタジン錠 5 mg「YD」 (10.6 円/錠 アレルギー疾患治療剤)
→ 需要過多による供給不足のため再度出荷調整

2) 出荷調整に伴う一時的な採用変更

- ・セルトラリン OD 錠 25 mg「アメル」 (13.1 円/錠 選択的セロトニン再取り込み阻害剤)
→ 先発ジェイゾロフト錠 25 mg(72.2 円/錠 ヴィアトリス)へ
- ・リュープリン SR 注射用キット 11.25 mg (52882 円/キット LH-RH 誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤)
→ リュープリン PRO 注射用キット 22.5 mgの製造を優先させるため、供給量低下(2021 年 9 月発表)。
当院在庫消したため、マスター閉鎖。

3. 採用変更 ※当院在庫なくなり次第随時院外限定採用変更を予定しています

- ・バリキサ錠 450 mg (2502.4 円/錠 抗サイトメガロウイルス化学療法剤)

以下薬剤は、在庫消したため院外限定採用へ変更致しました。

- ・ファロム錠 200 mg (83.5 円/錠 経口用ペネム系抗生物質製剤)
- ・テリボン皮下注 28.2 μ g オートインジェクター (6018 円/キット 骨粗鬆症治療剤)
- ・トフィンパム錠 50 mg「日医工」 (5.9 円/錠 自律神経調整剤)
- ・エイベリス点眼液 0.002%2.5ml (951.0 円/ml 選択的 EP2 受容体作動薬 緑内障・高眼圧症治療剤)
- ・サムスカ顆粒 1% (1613.0 円/g V2-受容体拮抗剤)
- ・ナルラピド錠 1 mg (112.6 円/錠 がん疼痛治療剤)
- ・ベリチーム配合顆粒 (10.9g/包 消化酵素剤)

以下薬剤は、臨時採用品であり、在庫消したためマスタを閉鎖致しました。

- ・アデムパス錠 0.5 mg(685.9 円/錠 可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC)刺激剤)
- ・オプスミット錠 10 mg(13652.2 円/錠 エンドセリン受容体拮抗薬)
- ・フィルグラスチムBS注 300 μ g シリンジ (7507.0 円/シリンジ G-CSF 製剤)
- ・ミルリーラ注射液 10 mg (3357.0 円/本 急性心不全治療剤)

4. 添付資料

- ・院内採用薬の供給停止・出荷調整薬について(2022 年 2 月 28 日更新)
- ・DSU No.306
- ・医薬品医療機器等安全性情報 No.389
- ・医療安全情報 No.183